

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol.64

■ 第6回カイゼンベースWebセミナー『動作研究の考え方と活用法』（会員限定）

次世代自動車センターでは、新型コロナウイルス感染症対応として、2020年度事業計画で予定していた講座のうちWeb化可能な講座と、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に関する自動車産業実態調査」アンケートにおいて希望の多かった新入社員・若手社員向け社内教育のためのテーマについて、自動車工学基礎講座Webセミナーの一環として実施しています。

今回、その第6回目として、カイゼンベースWebセミナーとして「動作研究の考え方と活用法」を実施しました。

■ 日時： 令和2年12月9日（水）13時30分～15時30分

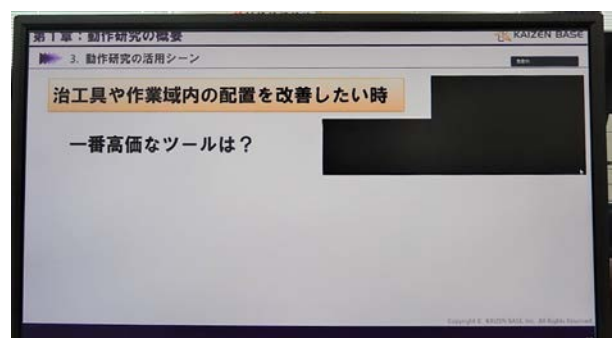
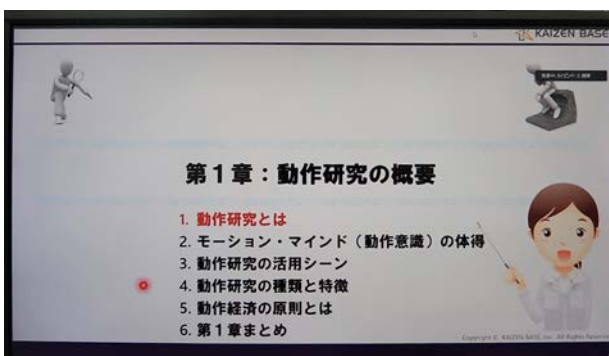
■ 場所： web形式

■ 参加者： 25社/48名



本日のスケジュール

時間割	項目	担当
13:30 - 13:35	5 開会宣言 次世代自動車センター	山村様
13:35 - 13:40	5 開会挨拶 次世代自動車センター センター長	望月様
13:40 - 14:15	35 第1章：動作研究の概要	関原
14:15 - 14:18	3 ブレイク	
14:18 - 14:53	35 第2章：動作経済の原則	関原
14:53 - 14:56	3 ブレイク	
14:56 - 15:20	24 第3章：両手作業分析	関原
15:20 - 15:25	5 eラーニング紹介 カイゼンベース	関原
15:25 - 15:30	5 閉会の辞 次世代自動車センター	山村様
15:30	終了	



【参加者の声】

- ・ 独自独学で行っている動作分析手法をわかりやすく教えて頂き参考になった。
- ・ 職場で実践したくなる内容で、大変勉強になった。いろいろな視点で物事を見極め、データ进行分析し、カイゼンを実施していきたいと思った。
- ・ 聞けば納得できる事例が多く、自社での改善、ムダ項目が多いことに改めて気づかされた。
- ・ 職場のムダ取りに役立つ手法が沢山あり、大変参考になった。
- ・ 改善への切り口がより明確になり、その手法が学べた。直に取り入れ可能な具体例が多かった。
- ・ 現場では部品の組立を行っており、作業分析・作業工数短縮を行う機会が多いので、大変参考になった。
- ・ 作業分析方法がステップ分けされており活用しやすいと感じた。
- ・ どうやれば生産効率を上げられるか、また、少人数でも作業が出来るのか手法や考え方が分かった。
- ・ これまでの改善では加工時間を短くすることが多く、人の動作分析をしていなかったもので、分析の仕方が分かり参考になった。
- ・ モーションマインドを養う大切さなどを改めて学ぶ機会となり、考え方や活用法をもっと見直す機会になった。
- ・ 動作研究の進め方の考え方は初めて聞いた事なので、非常に参考になった。
- ・ 動作経済の原則で、4つの基本原則と3つの視点を用いてマトリクスを組み、それぞれの観点からの分析を行う方法を知ることができた。
- ・ 分かりやすかった。質問形式の為、常に回答を考えながら受講できた。
- ・ 体系としてしっかりまとまっており、基礎知識として習得するのに適切だった。
- ・ 作業者のやる気次第よりも動作の違いの方に影響が出やすい為、監督者は常に違いを見つける視点を持つ事が大切だと感じた。